



練馬区立石神井西中学校

第2学年 学年通信



令和2年 8月28日(金) 発行

第23号 ~太陽の学年~



初めての1週間が終わりました。

2学期が始まって1週間が過ぎました。瞬く間に過ぎた1週間だったと思います。

学期始めの1週間はその学期のスタートダッシュの期間でもあり、先生たちも不安と緊張が入り混じる1週間です。1学期と変わらず元気な姿で生活を送るみなさんから、安心をもらった1週間でもありました。

今週のようす

始業式から暑い日々が続きました。暑さに負けることなく校内で元気に過ごす姿が印象的でした。



始業式

Zoom を用いて教室で始業式を行いました。



総合

2学期の総合の学習の時間の流れについて学習しました。



班長会

くじ引きをもとに班長会で座席を考案しました。

今後の予定

日付	内容	日付	内容
8/31(月)	生徒会朝礼(教室) 通常6時間 ①学	9/7(月)	通常6時間 ①総
9/1(火)	通常6時間	9/8(火)	通常6時間
9/2(水)	通常6時間 ⑤授業 ⑥道	9/9(水)	通常5時間 眼科検診 各種委員会 ⑤道
9/3(木)	通常6時間 内科検診 ⑥総	9/10(木)	通常6時間 <u>式服</u> ⑤情報モラル教室 ⑥総
9/4(金)	通常6時間 中央委員会 ⑥総	9/11(金)	通常6時間 ⑥総
9/5(土)	休業日	9/12(土)	授業日 3時間授業 区一斉防災訓練

<コメント欄>

意見文紹介

Ver. 12 渡辺先生より

「TOKYO2020+1」

～池江選手のメッセージ～

私は小学校4年生からバスケットボールをやっている。だからこの文を読んだとき、共感する部分が多くあった。私は普段、つらい練習や嫌なことがあると、やめてしまいたいと強く思うことがある。だけど、それを乗り越えてふと振り返ったとき、自分があのとより成長したことを実感できる。それが嬉しくて続けているのだと思う。

また、私は一度母とケンカをし、「バスケをやめろ」と言われたことがあった。普段なら「やめていいならやめるのに」と自分で言っていたが、その時初めて「やめろ」と言われて、絶対に嫌だと思った。やっぱり自分はバスケが好きなのだとも思った。数か月前の休校期間でも、バスケができないことに焦りを感じた。

私は、自分が原因でバスケができなくなることはないと思う。(C組女子)

私が印象に残ったのは、「どんなに小さな努力でも、それが無駄だとは思わない。」というところだ。なぜなら、オリンピックが今年できなくても、次のチャンスを信じて努力をし続けるところが、とてもすごいと思ったからだ。私なら、次のチャンスが無いかもしれないとなったら、あきらめてしまう可能性がある。いかなる状況においても努力を続けて、強くなっているのがプロ選手なのだと感じた。私は、このことから、この先色んなことがあっても、自分のやりたいことができるように、努力をしようと思った。やるべきことはこの先たくさん出てくる。それらを全部できるよう、池江さんを見習って、少しずつでもやっていこうと思った。(E組男子)

<保護者の皆様へ>学年主任 伊藤 友文

先日はお忙しい中、保護者会のために来校いただきありがとうございました。暑い体育館の中での全体会でしたが、最後まで傾聴して下さったことに感謝しております。また、その後の学級懇談会では各学級で和やかな雰囲気のもとで懇談会が進み、それぞれのご家庭やお子様のようすを共有することができたかと思えます。保護者の皆様同士の悩みの共有や、つながりが芽生える有意義な保護者会になれていたら幸いです。

残念ながら欠席のご家庭も生徒に配布資料を渡しています。後日アップする全体の様子とあわせてご覧になってみてください。今後ともよろしく願いいたします。